



自助・共助・公助、自主防災組織の役割を知ろう！

防災環境課  
防災危機管理係  
(☎54-6601)

一般的に、災害時の助けは『自助＝70%、共助＝20%、公助＝10%』といわれています。

さらに、災害が大規模になればなるほど、行政の対応力は小さくなり、自助・共助の重要性が増大します。災害による被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助の役割を知り、それぞれが災害対応力を高め、連携することが大切です。

個人・家族など

自助



「自らの安全は、自らが守る」これが防災の基本です。自分の手で自分・家族・財産を助ける備えと行動を『自助』と呼びます。

普段から災害に関する知識を身に付け、準備をしましょう。

隣近所・事業所などの地域コミュニティ

共助



「わがまちは、わが手で守る」これが地域を守る最も効果的な方法です。近隣のみなさんと協力して地域を守る備えと行動を『共助』と呼びます。

地域の特性は、昔からその地域に住んでいる方がご存知です。自主防災組織や公区の活動を通じて、地域の特性を理解した上で、災害に備えましょう。

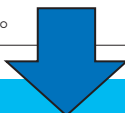
行政組織

公助



町をはじめ、消防・警察・国・道といった行政機関、ライフライン各社の応急

対策活動を『公助』と呼びます。各機関とも、発災後できるだけ早く応急対策活動を行うよう備えています。



◆自主防災組織とは

災害から身を守るには、自分の身は自分で守る自助と、住民が協力して地域ぐるみで取り組む共助が必要で、それを活かすためには自主防災組織の存在が必要不可欠です。

自主防災組織は、災害が発生したときに、地域住民が共通認識をもって自助・共助ができるように、次のような活動を行います。

自主防災組織については「防災のしおり」22ページにも記載していますので、ご覧ください。

《平常時》

- ・災害に備えた訓練や防災研修を行う。
- ・避難時の要支援者の把握と、支援計画を立てる。

《災害時》

- ・避難誘導や避難支援、救出救護を行う。
- ・避難所の運営、給食給水のような、さまざまな共助の活動を行う。

～自主防災組織に対する支援～

幕別町協働のまちづくり支援事業の公区防災活動支援事業で、町から公区に対し交付金を交付しています。(複数公区での申請も可)

対象要件や手続き方法は、町ホームページをご覧ください。か、住民生活課住民活動支援係(☎54-6602)へお問い合わせください。

<ご案内> 防災行政無線の放送はしっかりと受信できていますか？

防災行政無線は令和3年4月の運用開始から間もなく1年が経過します。

希望する全ての世帯を対象に戸別受信機を配布し、これまで、防災に関する情報や新型コロナウイルスに関する情報をお伝えしてきましたが、一部の方から放送が途切れたり、全く入らないというご連絡をいただいています。

そういった現象が起こるのは、戸別受信機の設置場所や住宅の建材、周辺の環境により電波がしっかりと受信できていないことが原因として考えられます。

職員がご自宅にお伺いして、電波の受信状況を確認しながら、最適な戸別受信機の設置場所のご案内や、必要に応じて屋外アンテナを設置しますので、防災環境課防災危機管理係(☎54-6601)までご連絡ください。



▶幕別町防災公式LINE

QRコードを読み込み、「友だちに追加」でご登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒⇒@makubetsu



▶防災情報メール

QRコードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、ご登録ください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp